

公共事業等施行状況調（令和3年2月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (2月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		2年度 C	C/A	元年度 D	D/B	
		2年度	元年度	2年度 A	元年度 B					
1	治山・治水	26,588	24,947	17,932	15,249	14,325	79.9	13,918	91.3	
2	農林・水産	34,442	30,007	26,806	22,139	21,247	79.3	16,986	76.7	
3	道 路	56,264	53,779	35,220	31,854	32,386	92.0	28,373	89.1	
4	港湾・空港	6,938	5,790	3,712	2,665	2,680	72.2	2,416	90.7	
5	下水道・公園	8,551	6,143	2,314	3,550	2,032	87.8	3,141	88.5	
6	住 宅	2,090	1,738	1,680	1,099	1,377	82.0	1,045	95.1	
7	庁 舎	1,320	744	1,197	603	878	73.4	579	96.0	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	14,181	8,063	11,509	6,843	3,894	33.8	2,530	37.0	
11	工業用水・上水道等	1,042	1,242	89	148	81	91.0	118	79.7	
12	災害復旧	190	129	132	15	127	96.2	15	100.0	
13	その他	11,435	7,951	8,056	4,625	6,414	79.6	3,015	65.2	
	計	163,043	140,533	108,648	88,790	85,441	78.6	72,136	81.2	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和3年2月末）

（単位：社、件、百万円、％）

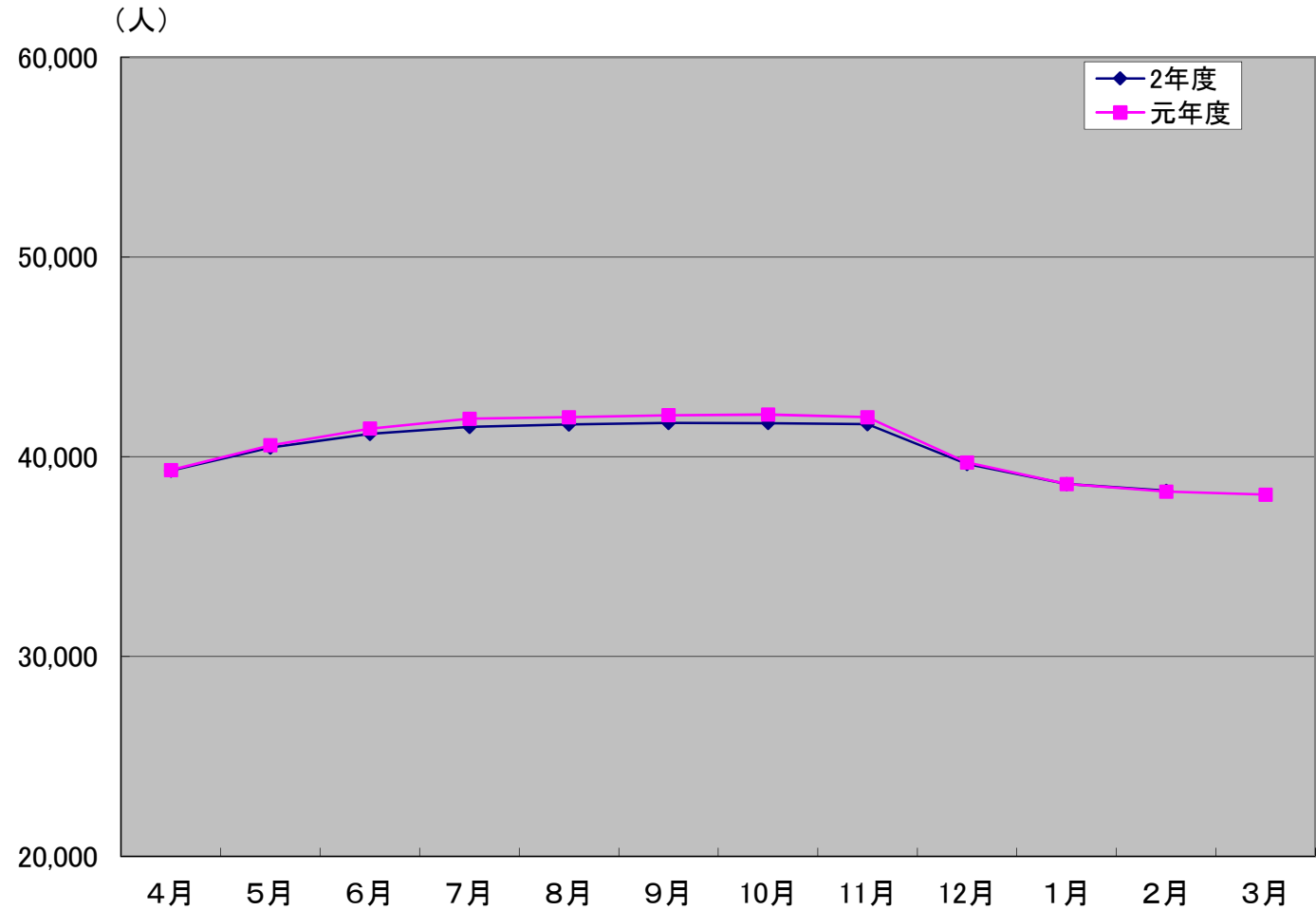
事 項	予 算 措 置 額		発 注 実 績											
	(A)		合 計 (B)			県 内 (C)			県 外 (D)			共 同 企 業 体 (E)		
区 分	事業費	本工事費	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額
2年度	163,043	108,648	27,620	2,806	85,441	26,922	2,688	74,575	583	87	4,166	115	31	6,700
					B/A 発注率	C/B		D/B		E/B				
					78.6	97.5	95.8	87.3	2.1	3.1	4.9	0.4	1.1	7.8
前年度比	116.0	122.4	101.7	102.9	118.4	101.9	103.0	113.9	92.5	91.6	139.4	119.8	147.6	183.2
元年度	140,533	88,790	27,151	2,726	72,136	26,425	2,610	65,490	630	95	2,989	96	21	3,658
					B/A	C/B		D/B		E/B				
					81.2	97.3	95.7	90.8	2.3	3.5	4.1	0.4	0.8	5.1

被保険者数

	2年度	元年度
4月	39,303	39,329
5月	40,467	40,575
6月	41,148	41,411
7月	41,492	41,898
8月	41,611	41,985
9月	41,687	42,080
10月	41,689	42,115
11月	41,636	41,978
12月	39,646	39,712
1月	38,642	38,636
2月	38,307	38,252
3月		38,104

前月末被保険者数	38,642
資格取得者数	354
資格喪失者数	688
転入者数	1
転出者数	2
今月末被保険者数	38,307

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)2月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年3月)

	需給動向												価格動向												備 考	
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前			八 戸			県平均				
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の1月の販売量は1万6千トン(セメント協会調べ)で前年同月比9.2%の減。需要環境が厳しいなか、メーカー各社は値上げ未達分の浸透に向けて、需要家と粘り強く交渉を続けている。しかし、主たる需要家の生コンメーカーは、生コン需要の低迷や骨材調達コストの増加などが経営を圧迫しているとして、値上げに抵抗している。交渉はこう着しており、先行き、横ばい推移の公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			商いは閑散としており、需給に引き締めが見られないなか、需要家の購入姿勢は一段と厳しさを増している。一部のメーカーは、鉄などの原材料、運搬コストの増加を理由に来年度に向けての値上げを打ち出しているものの、需要家の反発が強く値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の2月の出荷量は3万8千m3(生コン工組調べ)で前年同月比35.4%の増。一部の地域では風力発電および、使用済燃料再処理工場向けの出荷が好調である。しかし、その他地区の一般物件の需要は冷え込んでおり、物件等の先行きも不透明である。こうしたなか、需要家の値下げ要求は強くなっているものの、メーカー各社は出荷量減少に伴う製造コストの上昇を理由に抵抗している。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕 石		○			○			○			○			○			○			○			○			需要は道路補修などの小口物件が中心で低調に推移。工事量の減少を理由に需要家の指し値は厳しいものの、メーカー各社は出荷量減による固定費率や人件費の上昇、燃料の高騰を背景に現行価格を維持する姿勢。先行き、横ばいの公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295A・D16でトン当たり79,000円と前月比1,000円の上伸。主原料の鉄スクラップ価格は一時的に急落したが、その後は高騰し、再び高値水準で推移。原料価格が乱高下するなか、メーカー各社は価格優先の販売姿勢を変えず、値上げ交渉を継続。需要家は値上げに難色を示していたが、流通筋の売り腰も強く、値上げ額の一部が浸透した。鉄スクラップの高値は今後も続くとの見方が大勢で、メーカー、流通筋とも値上げの全額浸透を目指す構え。目先、強含みの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			2月の県内出荷量は2万4千トン(合材協会調べ)で前年同期比47.7%の増。復興道路関連向けは大幅に伸びたものの、一般物件の需要は冷え込んでおり、道路改良や維持修繕など小規模工事向けが中心で、需要低迷が続いている。メーカー各社は、輸送コストの上昇やアスファルト価格の高値から値上げの意向にあるが、需要家の反発も大きく、現行価格維持が精いっぱい。需要環境が好転する見込みは乏しく、先行き、横ばいの見通し。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり68,000円と前月比変わらず。1月の県内新設住宅着工戸数は388戸で前年同月比24.4%の増加(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比15.6%の増加、それに次ぐ貸家が同11.6%の増加と前月に続き大幅に伸びた。新型コロナウイルス感染症に伴う経済の不透明感を背景に、全国の新設住宅着工戸数は19カ月連続で減少し、建築用木材の需要は総じて低調。こうしたなか、流通筋は原木価格の上昇分を製品価格に転嫁したい意向だが、需要家は小口当用買いに徹しており、交渉は進展していない。先行き、横ばい推移の見通し。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミノーラー渡しでリットル当たり101円、重油はローラー渡しで62円と共に前月比5円上伸した。世界的な景気回復期待の強まりや、主要産油国の協調減産による需給の引き締めを背景に、原油相場が上昇。元売り各社は仕切価格を引き上げ、流通筋も追従した。主要産油国が現行の減産幅の継続を決定し、足元の相場は上昇基調に転じているが、実需面の回復見通しは依然として不透明な点が多く、さらなる上昇には懐疑的な見方もある。目先、横ばいの見込み。
型枠合板			○			○				○				○						○						12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,300円と前月比20円の上伸。1月の輸入合板入荷量は21万3千m3(財務省調べ)で前年同月比11.7%減。新型コロナウイルス感染拡大による現地労働者の不足や、天候不順による原木不足が終息せず、入荷量は低調なまま推移。品薄感がさらに強まるなか、流通筋が仕入れ価格の上昇と先高値を理由に売り腰を強め、統伸した。国内景気の低迷で需要は低調だが、品薄状態の長期化を懸念する向きもある。目先、強含みの見込み。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり87,000円と前月比前月比1,000円の上伸。鉄スクラップ価格が乱高下するなか、メーカー各社は価格優先の販売姿勢を崩していない。流通各社は仕入れ価格上昇分を転嫁すべく、強い売り腰で価格交渉を続けている。需要の低迷から、上昇幅は縮小しているものの、統伸局面となっている。今後も需要の大幅回復は見込み薄との見方が強い。メーカー各社は減産によるコスト上昇と原料の高値推移を背景に、強い販売姿勢を維持していく構え。目先、強含み推移の公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年3月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリーム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25～5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40～0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	103,000	0.0	103,000	0.0	103,000	0.0	103,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16～25mm	t	79,000	1.3	79,000	1.3	79,000	1.3	79,000	1.3	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60～100	t	74,000	0.0	74,000	0.0	74,000	0.0	74,000	0.0	60～80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	101.0	5.2	101.0	5.2	101.0	5.2	101.0	5.2	101,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	62.0	8.8	62.0	8.8	62.0	8.8	62.0	8.8	62,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,300	1.6	1,300	1.6	1,300	1.6	1,300	1.6	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	87,000	1.2	87,000	1.2	87,000	1.2	87,000	1.2	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

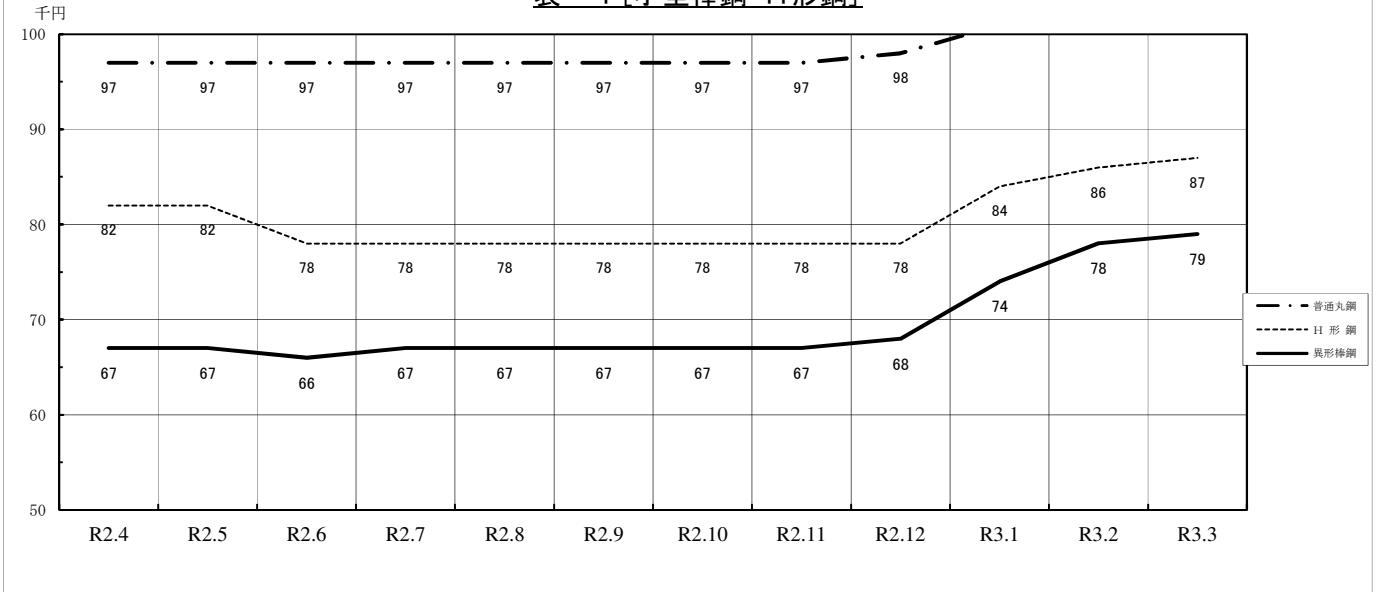


表-2 [セメント・生コン]

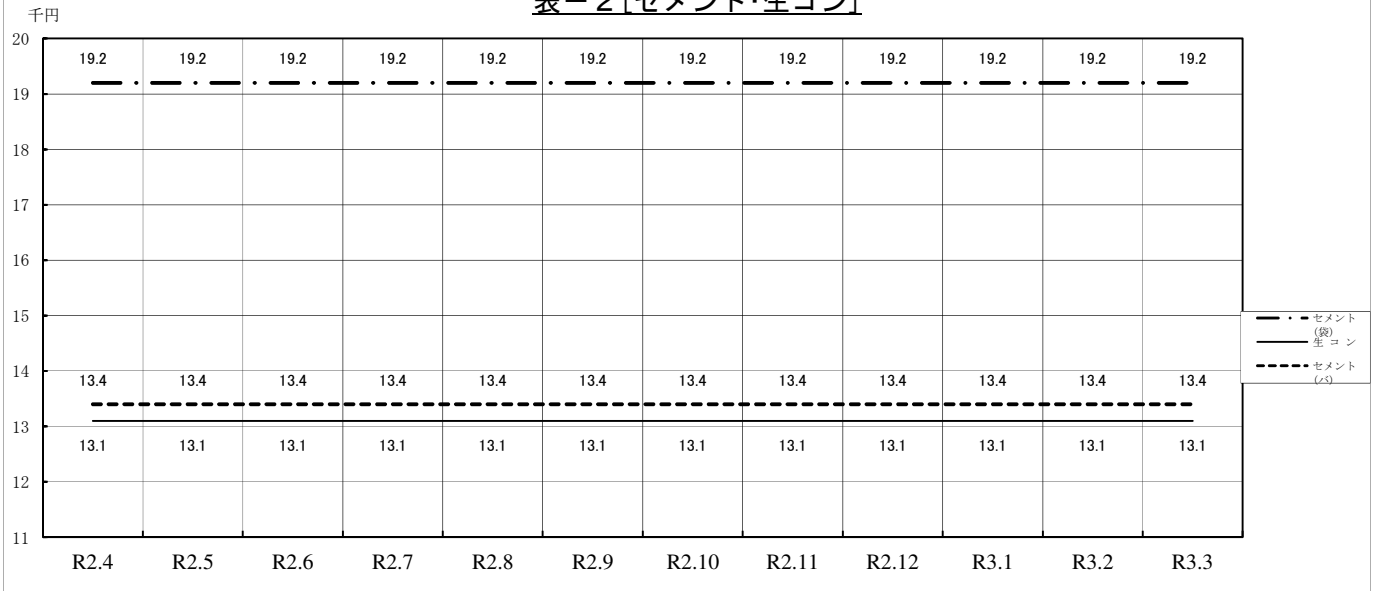
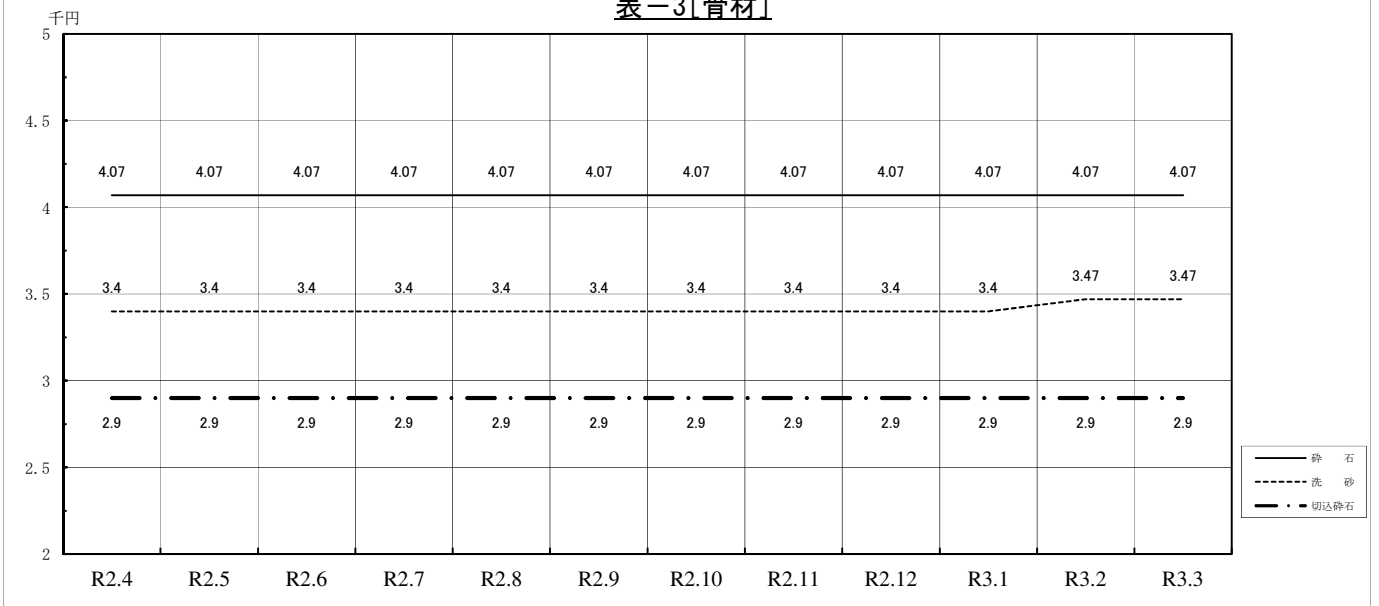


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

